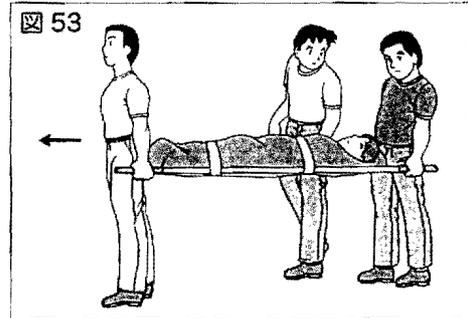


搬送法

傷病者のいる場所が危険な場合に、傷病者を安全な場所に移動させる方法です。傷病者のいる場所が安全な場所ならば、その場で応急手当を行い救急車の到着を待つのが原則ですが、そうでない場合、まず必要な応急手当を行い、傷病者に苦痛を与えず安全に搬送することが大切です。震災時など、救急車が到着できない場合には、市民がお互いに協力して傷病者を搬送しなければなりません。

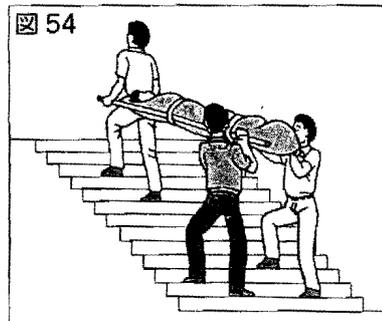
1 担架搬送法

- 原則として傷病者の足側を進行方向にして搬送します。搬送中は、動揺や振動を少なくする必要があります。

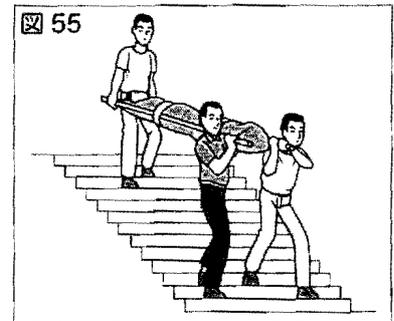


搬送の基本

- 階段など傾斜のある場所を移動するときは、常に傷病者の頭側が高くなるように、上りは頭側を進行方向に、下りは足側を進行方向に向けて搬送します。



階段などを上る場合



階段などを下る場合

- 応急担架の作り方

- 毛布を利用した応急担架

棒がない場合で、4名以上の救助者がいる場合は、毛布の両端を丸めて握り搬送する方法もあります。

- 棒と毛布による応急担架

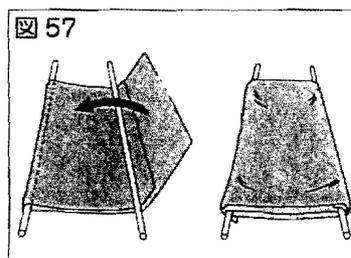
毛布を広げ、約1/3の場所に棒を1本置き、棒を包み込むように毛布を折り返します。もう1本の棒を、折り返した毛布の上（端を15cm以上確保します）に置き、残りの毛布を折り返します。

- 衣服を用いた応急担架

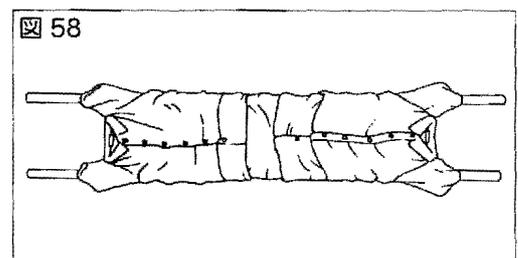
5枚以上の上着を用意し、上着のボタンをかけたまま、両そでに棒を通します。



毛布を利用した応急担架



棒と毛布による応急担架



衣服を用いた応急担架

担架搬送方法の基本(四人一組)

- ① 傷病者の片側に3人並び、1人は反対側に位置する(図1)
- ② 3人の立て膝の上に乗せる(図2)
- ③ 1人が担架を持ってきて、4人で降ろす(図3)

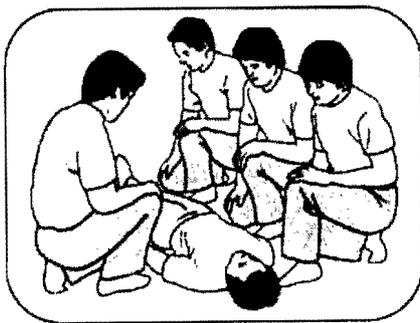


図1

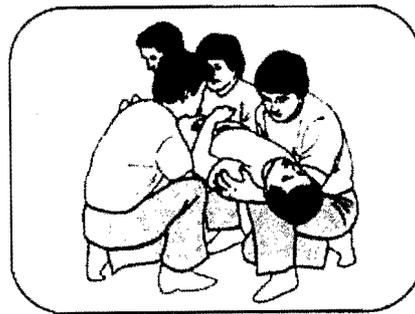


図2

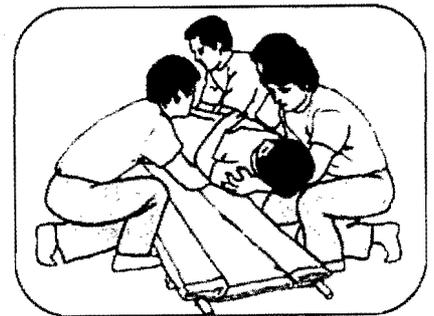


図3

- ④ 位置について互いに向き合う、立て膝をして、担架を持つ(図4)
- ⑤ 指揮者(指揮者が以内場合は頭の方に位置したものの)の「立つ用意ー立て」の合図で持ち上げる(図5)

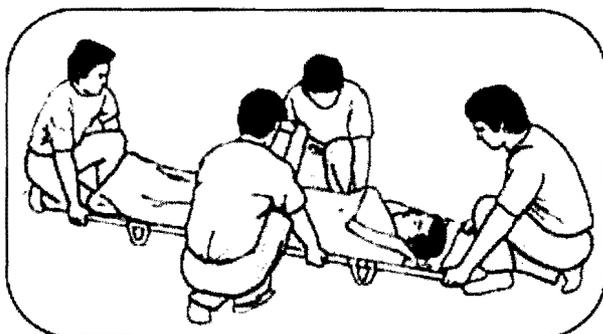


図4

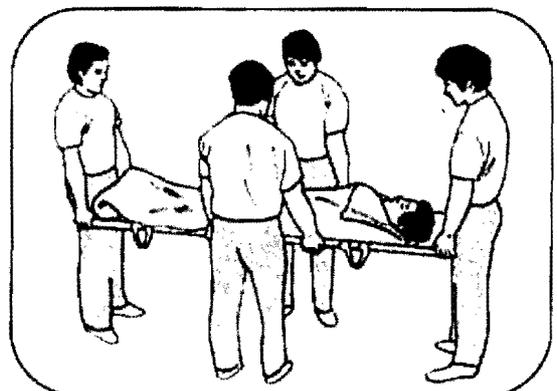


図5

⑥ 指揮者の指示で、横についた者が足側に寄り、「よし」と合図する(図6)

⑦ 足側の者は向きを変えて「よし」と合図する(図7)

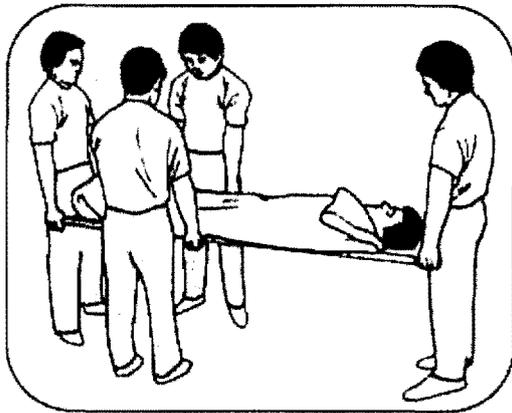


図6

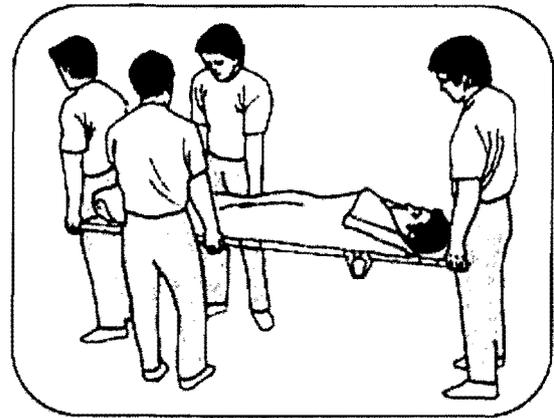


図7

⑧ 指揮者の指示で、横についた者は担架中央に戻り、進行方向を向く(図8)

⑨ 「前へー進め」の合図で、頭の所にいる者は右足から、他の3人は左足から歩き出す(図9)

* 担架を降ろすときは、上げるときの逆の順序をとる

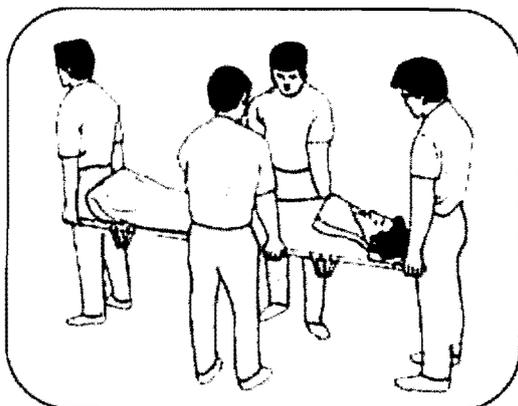


図8

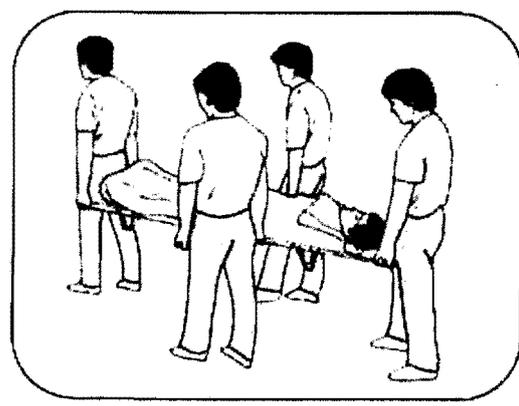


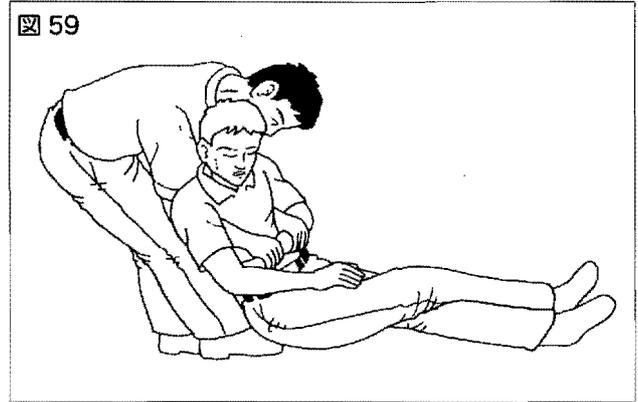
図9

2 担架を用いない搬送法（徒手搬送法）

- 担架等が使用できない場所で、事故現場から他の安全な場所へ緊急に移動させるために用いられます。
- 徒手搬送は、いかに慎重に行っても傷病者や救助者に与える負担が大きく、二次災害につながる危険があるため、必要やむを得ない場合に限ります。

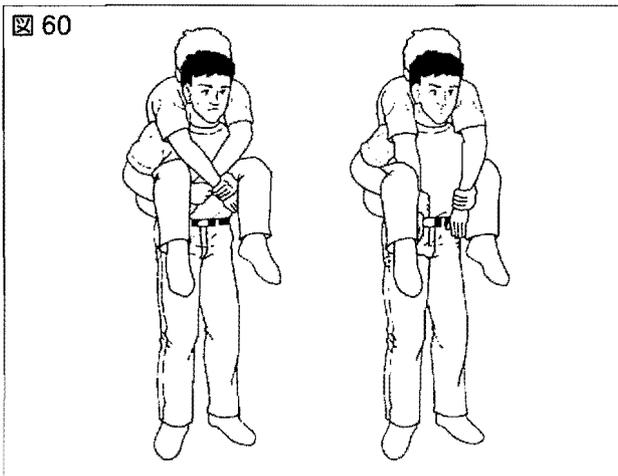
1 1名で搬送する方法

- 背部から後方に移動する方法
 - おしりをつり上げるようにして移動させます（図 59）。



1名で搬送する方法

- 背負って搬送する方法
 - 傷病者の両腕を交差または平行にさせて、両手を持って搬送します（図 60）。
- 横抱きで搬送する方法
 - 小児、乳児や小柄な人は横抱きにしたほうが搬送しやすくなります（図 61）。

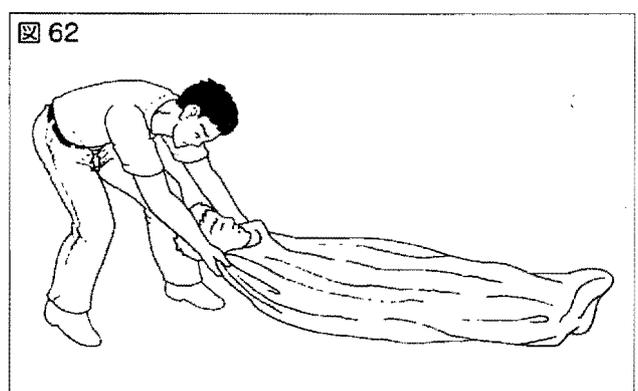


背負って搬送する方法



横抱きで搬送する方法

- 毛布、シーツを利用する方法
 - 傷病者の胸腹部を圧迫することが多いので注意します（図 62）。



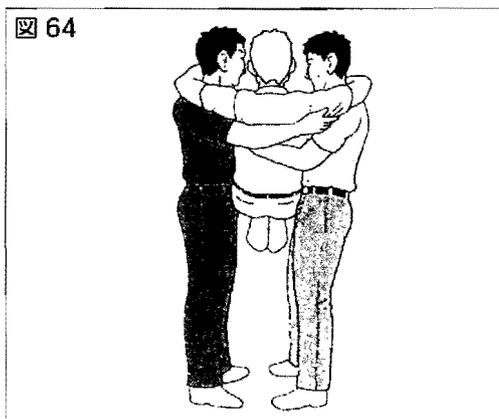
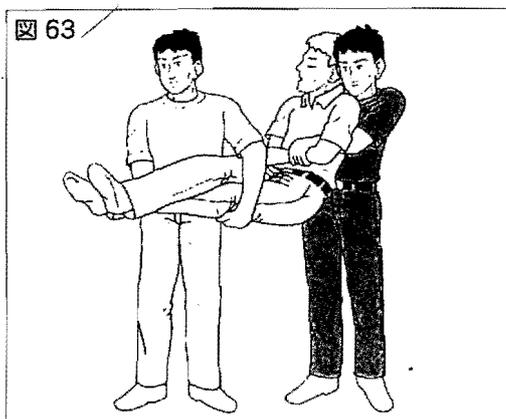
毛布を用いた搬送方法

- 1名での搬送はやむを得ない場合にとどめ、努めて複数の者による搬送を心がけます。

2 2名で搬送する方法

- 傷病者の前後を抱えて搬送する方法（図 63）
- 手を組んで搬送する方法（図 64）

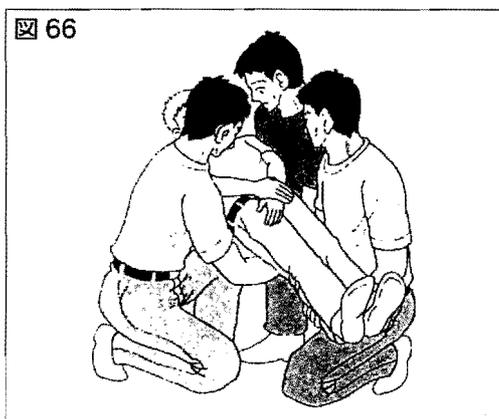
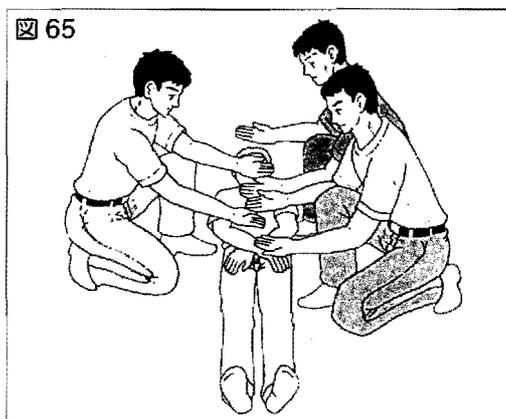
- 傷病者の首が前に倒れるおそれがあるので気道の確保に注意します。
- 2名がお互いに歩調を合わせ、搬送に際して傷病者に動揺を与えないようにします。



2名で搬送する方法

3 3名で搬送する方法

- 3名で搬送する場合の注意事項
 - 3名が同時に行動します。
 - 足側の膝をつき、頭側の膝を立てて座ります（図 65）。
 - 両腕を傷病者の下に十分入れます（図 66）。



3名で搬送する方法